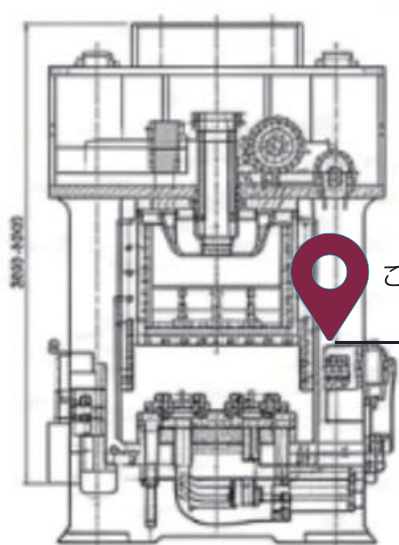


資料のつながりを、
AIが見つけ、
人が整え、判断に使う。



AnnoLink

図面・写真・3Dに、仕様・記録・資料をひもづけて確認。



ここから 確認



AnnoLink



関連図面



補足メモ



点検票



仕様書

* 例えば図面を起点として関連資料まで辿ることが出来ます



技能継承・引き継ぎ

熟練者が知っている
「どこを見るべきか」を組織に
残す。



設計レビュー

図面の変更箇所から、
設計根拠・客先仕様・過去トラブルへ。



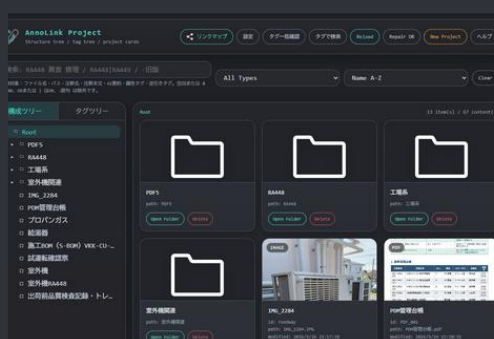
設備保全

設備写真や図面の該当箇所から、
点検手順・過去不具合・部品表へ。



資料の整理

PDF、写真、議事録、マニュアルを
業務の文脈でつなげて再利用しや
すく。



フォルダ単位で登録

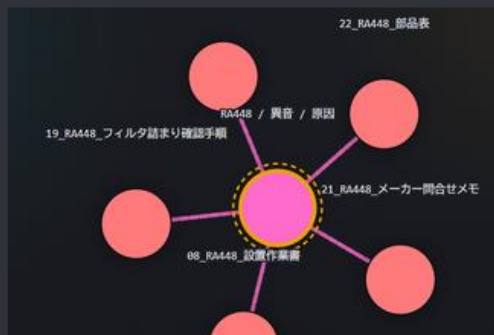
PDF、画像、写真、3Dデータなどをプロジェクト単位で管理。設備単位、案件単位、製品単位、教育テーマ単位など、まとまった資料を取り込み自動でタグ付けします。

AIが要約・タグ候補を生成

PDFなどの資料登録時に、AIが内容の要約やタグ候補を生成。大量の資料を一つひとつ確認する負担を軽減します。生成された内容は、担当者が確認・修正・採用できます。

資料に注釈・リンクを付与

PDF、図面、写真、3Dデータの気になる箇所に、説明文や注意点を直接追加できます。注釈には、関連するPDF、Webページ、動画、手順書、過去事例、部品表などへのリンクを設定できます。



資料同士を直接つなぐ

図面、PDF、写真、3Dデータ、注釈などを、「この資料はこの資料に関係する」と明示的にリンクできます。設計根拠、過去不具合、点検手順、部品表など、担当者が確認した確実な関係性を残せます。

同じ意味の情報をつなぐ

同じタグや属性を持つ資料・注釈を、同じグループの情報として関連付けできます。明示的な依存関係ではなく、「同じ設備」「同じ不具合」「同じ工程」などの共通点から、関係する情報を見つけやすくします。

状況から必要資料へ逆引き

「異音がする」「図面を確認したい」「過去事例を見たい」など、状況や目的を起点に、関係する資料へ辿れるようにします。ファイル名や保存場所を知らなくても、今知りたいことから必要な情報を探せます。

その他の機能

タグで資料を横断的に整理：フォルダ名に頼らず業務視点で分類。**現場写真に注釈を付けて登録**：現場の気づきを、その場でナレッジ化。**リビジョン機能**：注釈はそのままバージョンの差し替え。...etc

AnnoLink は既存の PDM や文書管理システムを置き換えるものではありません。正式文書の保管・承認・版管理は既存の仕組みを活かし、AnnoLink は必要な場面で関連資料の関係性を把握する役割を担います。

AnnoLink はオンプレミス運用に対応。社内 LAN / VPN 上で利用でき、機密性の高い図面・資料・写真を社外に出さずに活用できます。既存の社内ファイルサーバー上の資料もリンクし、二重管理を抑えながら関連情報を整理できます。

AnnoLink は小さく始められます。全社導入を前提にせず、まずは 1 案件・1 設備・1 テーマなど、資料探しが発生しやすい範囲から導入し、効果を確認しながら段階的に広がられます。



AnnoLink：資料の「つながり」で業務をスマートに

課題：ベテランの頭の中にしかない「知識」

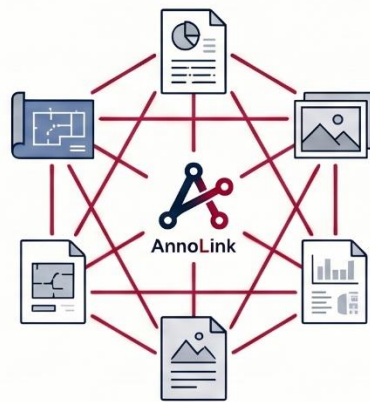


属人化した資料の関連性
知識が共有されず、確認作業が
特定の担当者に依存している。

資料探しに費やされる
膨大な時間

関連資料がバラバラに管理されている
ため、必要な情報を見つけ出すまでに
多くの工数が発生している。

解決：AnnoLinkによる可視化と効率化



資料の「つながり」を可視化

初めて見る人でもなぜその資料
が必要なのか即座に理解できる。
資料同士の関連を一目で確認できる。



業務の円滑化と属人化の解消
設計レビューや設備保全の対応をス
ムーズにし、担当者に依存しない確
認体制を実現する。



不具合事例

過去の類似事例を即座に参照
不具合事例と関連図面を紐付けるこ
とで、再発防止や迅速な意思決定を
サポートする。

散在する資料、使えない情報



図面、写真、手順書がバラバラに
存在し、必要な時にすぐに
見つからない状態。

その場で、必要な情報を即座に表示



図面の「特定の箇所」へ直接紐付け

AnnoLinkが、散らばった資料を
デジタルの図面上のピンポイント
な位置に集約します。

現場で図面を確認するだけで、
関連するすべての資料へ瞬で
アクセス可能になります。

見たい場所から、必要な情報へ最短ルートで到達する。



Point 1

「探す」時間をゼロに

図面上の地点から即座に関連資料を開けます。



Point 2

視覚情報と資料のダイレクトリンク

写真、PDF、3Dデータの特定の場所に、説明
や参照情報を直接残せます。



Point 3

情報の「伝わらない」を解消

重要な箇所の意味や背景をその場で確認で
きるため、引き継ぎやトラブル対応がスムーズ
になります。



AnnoLink

資料を作り直さず、注釈・タグ・リンクで使える

業界別活用シナリオ

直面している課題

AnnoLink なら

研究開発 R&D

機密情報や実測値を扱うため、外部AIの利用に慎重にならざるを得ない。規程・手続き・過去事例の確認にも時間がかかる。

- 研究報告書の症例からAIで検索
- 実験データ・計測値から検索・自動生成
- 機密情報を外部に出さず安全にAI活用

製造 Manufacture

機密図面・仕様書・過去トラブル情報が散在し、必要なノウハウを探すのに時間がかかる。現場でAIを活用しづらい。

- 機密図面・仕様書を社内環境でAI検索
- 過去トラブル・品質記録からノウハウを抽出
- 作業手順書・マニュアルを横断検索

提供プラン



AnnoLink



ATINDE



Applied Workstation
ATINDE AnnoLink XRサーバー 推奨 HPC
スタンダードモデル



【システム構成】

AnnoLinkはサーバ（XRServer）を LAN、VPN上に設置するオンプレミスのアプリケーションです。

クライアントPC（ユーザーアカウント）はブラウザで参照します。

XRServer 稼働条件：Windows11 64bit
GPU搭載推奨、ネットワーク接続必須

AnnoLinkProject, AnnoLinkEditor, AnnoLinkViz 稼働条件

Chrome、Safari 等一般的なブラウザ
ホイール付きマウスの利用を推奨

ATINDE AnnoLink XRサーバー 推奨モデル スペック（スタンダード）

- OS : Windows 11 Pro 64bit
- CPU : intel Core Ultra 7 270K Plus
24C(P8+E16) 24T/3.7-5.5GHz/L2:40MB/L3:36MB
- メモリ : 64GB(32GB×2) DDR5-5600 Unbuffered Non-ECC
- SSD : 1TB (M.2 NVMe) PCIe 4.0×4
- GPU : NVIDIA® RTX™ PRO 4500 Blackwell 32GB-GDDR7
- 電源 : 1000W 80PLUS GOLD認証(ATX3.1)
- 保証 : 1年間センドバックハードウェア保証



スターターセット



AnnoLink & アプライド製PCセット

- AnnoLink 全機能（買切）
- XRサーバーライセンス × 1
- ユーザーアカウント 5×ID セット
- HPC（GPU-Workstation）
- 初期セットアップ費用

※ ID追加の場合は 1 ID単位 1.5万円（年間）

480 万円 ~
（税別）



機能説明動画は
コチラを
ご覧ください

